

北下浦地域運営協議会と市長との車座意見交換会（概要）

開催日時	平成 29 年(2017 年) 3 月 28 日 (火) 18 : 30~20 : 35
開催場所	北下浦コミュニティセンター 3 階 集会室
出席者	北下浦地域運営協議会 29 人
	横須賀市 10 人
	市長、土木部、政策推進部、港湾部、福祉部、経済部、観光担当部 健康部、市民部
傍聴者	地域団体 36 人

質問 番号	質問の概要	市回答の概要
1	道路の整備とバス路線の増設について	
	長沢 6 丁目の安浦下浦線と野比北武線の接合部の工事は、度々延長されている。完成時期はいつごろになるのだろうか。	安浦下浦線は県道であり、工事は県が実施している。 想定よりも地層が悪く、設計見直しにより、工期が延長された。まだ、はっきりと工期は決まっていないとのことだ。 県から、地元の皆さんに説明をすると聞いているので、もうしばらくお待ちいただきたい。
	工期が何度も延長されるのは不安だ。	市としても、平成 28 年度開通と聞いていた。 市道の整備もあわせて施工しているが、市からも、県に対して目途を明らかにするよう伝えた。
	ウインドサーフィンワールドカップの開催を機に、国道 134 号線の行政センターから津久井までの海側に、歩道を整備してほしい。	ウインドサーフィンワールドカップでは、歩行者の安全が最優先だと考えている。 ご要望の道路は、国道であり、市で歩道をつくることはできない。国に対して要望していく。
	開催に期待しているが、心配もある。 5 年間の開催期間で、地元には何が残るのか、目に見える結果を残してほしい。	5 年間のワールドカップ開催後、地域に何も残らなかったではいけないと思っている。地域によくなったと感じてもらいたい。 道路の整備を、5 月までに行うのは現実的に難しいが、課題をうかがって、2 年後、3 年後につなげていきたい。

質問 番号	質問の概要	市回答の概要
	千駄ヶ崎寄りの野比海岸道路の地盤と護岸が崩れそうで心配している。 対策をしてほしい。	県道 212 号の早期復旧について、県に要望したところ、早急に進めるとの回答であった。 これ以上の崩落がないよう、市は離岸堤の整備を行っている。 早期に工事が完了するよう、県と市で頑張っ て進めていきたい。
	行政センター付近を通るバス路線の増設と、海岸通りのバス路線の復活をお願いしたい。	久里浜からY R P 野比またはY R P 野比循環のバス路線について、地元のニーズを確認し、京浜急行に伝えていきたい。 久里浜から三浦海岸へのバス路線については、電車の延伸に伴ってバス路線が廃止になったと聞いているが、地元のニーズを確認し、京浜急行に伝えていきたい。
	地域には、高齢者が多い。 北下浦の行政基盤である、行政センターにバスで直接行けるようなバス路線がほしい。	粟田のバス停が新設された例もあるので、地元のニーズを確認し、京浜急行に投げかけていきたい。
2	町内会業務の軽減と第三者組織による運営について	
	町内会・自治会の活動は多岐にわたり、年々、市からの依頼が増えているように感じる。依頼業務の軽減を検討してほしい。	昨年度から、防犯灯の管理を市が行うようになり、ご負担を軽減できた例もある。 現在、市からの通知を、まとめて送付することができないか検討している。必要性を精査し改善していきたい。
	市が防犯灯の管理をするようになったが、故障の対応に2、3か月、新設に1年かかるようになり不便になった。 対応を早急にしてほしい。	該当の防犯灯の箇所を調べたい。防犯灯の設置を委託している事業者にも、あらためて確認したい。

質問 番号	質問の概要	市回答の概要
	<p>町内会・自治会の役員の成り手がいなく苦勞している。</p> <p>市職員のOB等、第三者による町内会・自治会運営組織をつくり、役員を委託することは考えられないか。</p>	<p>町内会、自治会の成り立ち等を考えると、業務委託はなじむものなのか課題があると思う。</p> <p>町内会の円滑な運営には、住民同士のコミュニケーションが重要である。</p> <p>市としては、行政センターを中心にできる限り支援していく。</p> <p>市職員に対しては、退職後の町内会・自治会への参加を促しており、今後は、現役職員にも地域活動への参加を促していきたい。</p> <p>北下浦地運協では「町内会参加促進事業」という、すばらしい活動に取り組みました。</p> <p>市も不動産事業者と協定を結び、町内会への加入を促進し、地域の裾野を広げる活動を続けていく。</p>
	<p>町内会の運営にはある程度のお金が必要だ。</p> <p>不動産事業者は、契約等に影響すると町内会の加入促進をしてくれない。</p> <p>各町内会が、もっとスムーズに行動を起こせるようなつながりを作ってほしい。</p>	<p>加入促進事業について、不動産事業者にもう一度確認し、呼びかけをするようにしていきたい。</p>
3	民生委員児童委員の成り手不足について	
	<p>最近、町内会等でボランティア団体ができ、共助の意味ですばらしいが、それぞれの団体がバラバラに活動している。</p> <p>ともに手をつなぎ活動してほしいと、市長のあいさつに入れてほしい。</p>	<p>団体同士が、お互いに助け合えることは理想的だと思う。各団体の連携は必要であり、地域運営協議会にも同様な趣旨がある。</p> <p>ボランティア団体が、バラバラに活動せずに、地域で連携していくことの必要性を積極的に話していきたい。</p>
	<p>市内の町内会・自治会、社協、民児協では、どのように次の委員を推薦しているのか、実態を調査し、結果を知らせてほしい。</p>	<p>北下浦地区民児協では、独自に民生委員等の役割を周知するパンフレットを作っていただき感謝している。</p> <p>民生委員の選出方法の実態については、13 ある民生委員推薦会地区準備会に対して確認し、その結果を報告していきたい。</p>

質問 番号	質問の概要	市回答の概要
	<p>民生委員児童委員、主任児童委員、社会福祉推進委員の仕事を市民に知ってもらうために、「広報よこすか」に常設コーナーを設け、現在の活動・状況を掲載してほしい。</p>	<p>「広報よこすか」の常設コーナーは、既に記事の予定が1年先ぐらまで決まっている。いまの企画が終わったときに、検討したい。</p> <p>また、広報掲示板でも方法があれば周知していきたい。</p> <p>新年度からは、市職員に対し、民生委員の仕事について理解を深める学習会を行う予定である。</p>
4	<p>商店会の活性化について</p> <p>商店会の加入促進運動をしているが、限界を感じる。市として、新しい条例の制定など対策は考えられないか。</p> <p>また、商店会加入による優遇策を検討してもらえないか。</p> <p>商店会の退会が多く、継続することも難しい。</p> <p>そのため、役員が固定化し、負担が大きくなっている。</p> <p>活性化のため、商店会で野外イベントを企画しても、保健所の指導により開催できないことがある。</p> <p>禁止というだけでなく、安全にできる方法を一緒に考えて指導してほしい。</p>	<p>商店会の活性化を図る条例は、既に県が条例を制定している。</p> <p>市内には84の商店会があり、その組織形態が異なっている。</p> <p>すべての商店会に同じ活性化策を実施することはできないので、商店会に加入していることが、消費者にとっても、事業者にとってもベストという方策を、地域で考えていくのが一番だと考えている。市は門戸を開いているので、ぜひ一緒に検討していきたい。</p> <p>来店機会作りのために、Y R Pの企業に商店会のパンフレットを持ってPRすることも考えられる。企業と商店会をつなぐ役割は、市で行っていく。</p> <p>町内会、民生委員、商店会ともに、成り手がいないということが課題となっている。</p> <p>商店会加入のメリットを、市としてもともに考えていくことが大事であると強く感じている。</p> <p>それぞれの事業が継続できて、はじめて商店会の意味があると思う。市も地元が発注するような意識づけを促進したい。</p> <p>臨時的・短期的なもの、公共性が強いイベントについては、営業許可ではなく届出だけで可能としている。</p> <p>安全の観点から、取り扱える食品に制限はあるが、実施可能な形を丁寧に説明していきたい。</p>

質問 番号	質問の概要	市回答の概要
	商店会にも補助金があるのか。	補助金はある。 毎年、どういった支援が必要か、商店会連合会と話し、支援策を翌年度の市の予算に上げている。 新しいアイデアがあれば、ぜひご提案いただきたい。
5	<p>北下浦ふるさとマラソン、ウインドサーフィンワールドカップへの支援について</p> <p>(1) 北下浦ふるさとマラソンについて</p> <p>追浜マラソン、シーサイドマラソン、北下浦ふるさとマラソンを横須賀三大マラソンとしてPRし、いずれは横須賀マラソンとして、フルマラソンへ成長できるよう道筋を支援してほしい。</p> <p>PRのため、京浜急行主要駅にポスター・チラシを依頼したいが、苦勞している。市から協力を要請してほしい。</p> <p>マラソン大会の運営費を、市からも援助してほしい。</p> <p>マラソンコースの中にある、野比海岸の通称ビッドル広場のフェンスが破損しているので対応してほしい。</p>	<p>フルマラソンになると、16号線の交通規制が必要となり、乗り越える課題が多い。</p> <p>北下浦ふるさとマラソンのPRは、京急の中吊りなどを含めて、協力できる部分を努力していきたい。</p> <p>ウインドサーフィンワールドカップや、DeNAベイスターズの総合練習場移転など、スポーツで市をPRしていくためのいい材料をもっている。一緒に研究していきたい。</p> <p>京急主要駅へのポスター掲出については、観光企画課の集客プロモーション担当が京急との窓口となるので相談してほしい。</p> <p>できる限り協力をしていく。</p> <p>追浜マラソンや、シーサイドマラソンにも補助はしておらず、運営費の補助は難しい。</p> <p>地域のイベントとして、市としてはPRなどの支援をしたい。</p> <p>ビッドル広場は、県の土地であり、壊れたフェンスの撤去はしてもらおう。</p>

質問 番号	質問の概要	市回答の概要
	<p>(2) 水仙の街・北下浦事業について</p> <p>昨今、水仙を目当てとする来訪者が増えているので、ビッドル広場にトイレを設置してほしい。</p> <p>北下浦地区内には、大型バスの駐車場がないので設置を検討してほしい。 また、それに伴うトイレの設置をあわせて検討してほしい。</p>	<p>トイレの設置とともに、路上駐車防止のために駐車場の整備も必要になるので、少し離れた、北下浦第一駐車場脇のトイレをご利用いただきたい。</p> <p>必要であれば、ビッドル広場に案内板などをつけたい。県を交えて検討のテーブルを用意できたらと思う。</p> <p>バスの駐車場には広い場所が必要になる。 市の土地だけでは、適地がみつからず苦労している。</p> <p>スポット的に、または週末だけなどの方法で、公共施設や地元の方へのはたらきかけなどを一緒に考えていきたい。</p>
	<p>(3) ウインドサーフィンワールドカップについて</p> <p>渋滞や放置自転車など、交通問題を心配しているので、対応してほしい。</p> <p>歩行者のスペースを確保してほしい。 また、横断歩道待ちの人が留まるスペースが希薄だと思う。</p> <p>県営駐車場と岸壁の間のフェンスで、汚破損が激しい箇所があるので改修してほしい。</p>	<p>警察、警備会社と、歩行者の安全対策を検討している。</p> <p>渋滞緩和のために、公共交通機関での来場を呼びかけるとともに、自動車で来場する方のために、既に、三浦海岸駅の隣に駐車場を確保した。三浦海岸駅からはシャトルバスの運行を計画している。土日は混雑すると思うが、安全対策を十分したい。</p> <p>津久井浜駅から、海に向かう道路が大事な動線になると思う。 4月上旬までに路側帯のカラー化をすすめるとともに、特に、人が留まる交差点には、手厚く警備員を配置したい。</p> <p>フェンスの改善については、県に早急な対応を要望している。 県も市も、ワールドカップ開催を機に、会場周辺の環境がよくなることを望んでいる。 開催までに間に合わないとしても、危険部分には仮設のフェンスなどを用意し、万全にしたい。</p>

質問 番号	質問の概要	市回答の概要
	<p>海岸線にテントが立ち、駐車場からの観覧が難しいと思われる。</p> <p>レースがよく見られるように、駐車場に観覧席のようなものを設置してほしい。</p>	<p>観客席については検討をしたが、物理的に難しい。テントは観覧の邪魔にならないように、設置したい。</p> <p>費用がかかることなので、スポンサー探しをしながらすすめていきたい。</p> <p>来年に向けては、よりよい会場セッティングができるよう、さらに検討していきたい。</p>
6	<p>総合事業と介護保険の見直しについて</p> <p>市は、総合事業をどのように進めていくのか、具体的に教えてほしい。</p> <p>地域では、どのような取り組みを進めたらいいのか助言がほしい。</p> <p>高齢化は進んでいる。</p> <p>2025年問題というが、地域では2020年問題と捉えており、普通に考えていたのでは遅いと思う。</p> <p>市の考えを聞きながら進めていきたい。</p> <p>地域包括ケアシステムと総合事業の関係は、今後どのようになるのか教えてほしい。</p>	<p>北下浦地区の「グリーンハイツゆいの広場」をはじめ、市内には高齢者の生活を支援する13のボランティア団体が活動している。</p> <p>今後も、地域で支え合う地域づくりを推し進めることが、非常に重要と認識している。</p> <p>国との情報交換は緊密にしながら、市では「住民主体型訪問サービス」が重要と判断し、大津と追浜をモデル地区として、協議体を設置した。具体的な支援方法の制度設計はこれからが本番となる。</p> <p>今後、まずはこの13団体が集まる意見交換の場を設け、その後に関連団体の意見交換に発展させたい。</p> <p>また、助け合いの会のサービスを互いに提供しあうことは、総合事業を推進するうえでひとつの答えだと思っている。</p> <p>これから継続的な活動をお願いするにあたり、補助的な支援を検討する必要もある。</p> <p>他の地域の情報を北下浦地域に提供するとともに、北下浦地域の情報を他の地域にも紹介していきたい。</p> <p>地域のことは地域で解決しなければならないという枠組みにおいては、地域包括ケアシステムとともに総合事業を進めていく必要がある。</p> <p>市として、積極的な情報発信に努めていく。</p>

質問 番号	質問の概要	市回答の概要
その他の意見交換		
1	<p>総合事業は、全国で一斉に展開されている。</p> <p>他自治体の成功事例を調査、研究し、横須賀市に展開してほしい。</p>	<p>成功事例はあると思うが、なかなかうまくいっていないのが実情である。</p> <p>しかし、できる限り早期に、制度のしくみが構築できるよう進めていきたい。</p>
2	<p>市から町内会の支援金をもらっているが、地域の実態を把握しているのか。</p> <p>地域コミュニティ支援課には、直接、地域と話しながら実態を把握してほしい。</p> <p>市と地域とが、一体となって地域が発展する方法を研究することが必要だ。</p>	<p>実態に基づかないサービスの提供は、皆さんの満足につながらない。</p> <p>地域コミュニティ支援課の職員が出向き、実情を把握することを実現させたい。</p>
3	<p>要支援1・2が、総合事業に移管されることになり、介護予防と生活支援を地域で支援することだが、拠点となる場所がない。</p> <p>駅周辺の空き店舗や空き家などを有効利用したいが、家賃などの問題がある。</p> <p>いい手立てがあったら支援をしてほしい。</p>	<p>介護予防や生活支援には、拠点が必要である。</p> <p>大津では、駅前に地域包括支援センターのサテライトができたが、これは所有者の方の篤志によるものである。</p> <p>市としては、まず公共施設をうまく使えないかと考えている。空き店舗や空き家の利用については、市役所の関係部課（福祉部・経済部・都市部）が連携して、意欲ある地域と情報共有をさせてもらいたい。</p>
4	<p>ビッドル広場のトイレには、駐車場が必要とのことだが、あの辺りは、ジョギングやウォーキングをする人が多い。100人以上の団体が来るともあり、実際に歩くとトイレに困る。</p> <p>歩行者が多いという観点からも、前向きに検討してほしい。</p>	<p>歩行者が多いということ踏まえて、検討させてもらいたい。</p> <p>近隣の福祉施設のトイレの使用などの手法も含め検討したい。</p>